

## 平成30年度学校評価実施計画

学校名	大分県立大分豊府高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>1 世界標準の学力向上</p> <p>①進学状況：難関・最難関大学22名、国公立大学170名合格。東大1、京大1、大分大医学部4の現役合格。思考力・判断力・表現力を問われる形式のAO入試や一般推薦は32名(昨年度40名)が合格。</p> <p>②授業改善：職員会議後の授業改善研修11回、授業研究会3回、外部講師を招聘しての研修会1回の計15回(全て中高合同)実施。職員全員が授業改善を意識して、ICT機器を活用した授業等意欲的に取り組んでいる。</p> <p>→中高教員対象アンケートにおいて、授業改善を意識している教員の割合100%、ICT機器を週1回以上活用している教員の割合95%</p> <p>2 世界標準の人間力向上</p> <p>①生徒会が主導となり各種行事の運営が定着。全校集会時、集団の規模が大きいため教師の指導が中心となっていたが、生徒会が主導するようになった。</p> <p>②学校生活アンケートによる生徒の状況把握、教育相談係を中心とした学校生活に課題を抱える生徒等の早期発見・早期対応をもとに、安心安全な学校作りが推進できている。</p> <p>3 業務の精選、効率化・平準化</p> <p>①中高別及び中高合同の企画会議が開催され、ミドルリーダーを中心に中高一貫教育の課題や次年度の重点的な取組計画が進行した。更なる中高の連携が重要。</p> <p>②領域によっては、クラス担任が分掌の仕事にあまり関与していない現状もある。次年度は、所属分掌での役割を見直し分担していく。</p> <p>③ICT活用については、順当に浸透している。今年度より、職員・生徒にiPadも増配置され、効果的な活用ができた。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
創造的な知性と豊かな人間性、逞しさを備え、高い志を持って国際社会でリーダーとして活躍できる人材を育てる。	<p>1 中高一貫教育の特色を活かして中学・高校の全教職員が協働して、6年間・3年間で生徒を育成する教育指導システムを確立する</p> <p>(1) 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の学力を育成する指導システムの確立 (中高一貫した教科指導、思考力・判断力・表現力を育成する授業実践、生徒が自主的に学ぶシステム構築)</p> <p>(2) 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の人間力を育成する教育システムの確立 (生徒の自己・他者理解を深め、広い視野を有し何事にも誠実に取り組む実践力を育成する特別活動や人権教育等)</p> <p>(3) 生きる力を育む進路指導システムの体系化を図るとともに、夢を叶える進学力を向上させる組織的対応システムの確立(中高一貫した進路指導体制、海外の生徒との交流、系・コース選択指導の充実)</p> <p>(4) 安心して学べる環境づくり、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>2 中高一貫教育の特色を活かして中学校・高校の全教職員が協働して、正確、迅速、効率的に業務を遂行できる学校経営体制を確立する</p> <p>(中高協働した業務システム構築、統合FS・OENシステムの活用)</p>	<p>1 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の学力向上</p> <p>2 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の人間力向上</p> <p>3 業務の精選、効率化・平準化</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の学力向上	生徒の授業満足度90%以上(生徒授業アンケート)	生徒の主体的な学習の確立及び個人の特性を活かした進路指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Hofu Timeを活用した学習習慣の確立</li> <li>・毎朝の「きせきノート」点検を活用した学習スタイルアドバイスの実施</li> <li>・推薦入試、AO入試を適切に利用した進路指導の取組</li> </ul>	PL:進路指導 SL:教務
	「授業に自ら参加した」「授業で自ら考えた」と回答した生徒90%以上(言語活動等生徒アンケート)	「学ぶ楽しさ」と「理解し活用できる喜び」を身につけさせるための授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントテストの実施(8月、10月)、検証とその見直し及び分析報告書の作成</li> <li>・授業研究会を含め、全教職員が年間4回以上の互見授業を実施</li> <li>・評価基準(ルーブリック等)及び観点別評価の見直し</li> </ul>	PL:教科統括 SL:教務
		総合的な学習の時間を中心とした思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年間を見通した「総合的な学習の時間」の探究活動実施と内容の検証</li> <li>・職員会議後の授業改善研修及び校内授業研究(年3回)の実施</li> <li>・問題解決能力の養成を目的とした校外プログラムへの生徒派遣</li> </ul>	PL:教科統括 SL:学年
2 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の人間力向上	「安心して学校生活が送れている」と回答した生徒90%以上(学校生活アンケート)	アンケート及び個人面談を通じた、いじめ等の早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ調査年2回、学校生活アンケート年3回実施</li> <li>・面談週間や長期休業明け時の正副担任による計画的・継続的な個人面談の実施</li> <li>・全校集会時の生徒指導部による意識啓発のための訓話</li> </ul>	PL:生徒指導 SL:学年
		あつたかハート123(県指定)の完全実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3日連続欠席生徒の支援カード作成と情報共有</li> <li>・不登校生徒の状況把握及び現状理解を目的とした校内支援体制の充実</li> <li>・管理職を交えた情報交換会の継続とスクールカウンセラー活用の促進</li> </ul>	PL:生徒指導(教育相談) SL:学年
		あいさつ運動と清掃活動を通じた「誠実で思いやりにあふれる生徒」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会、部活動生、教職員が主となったあいさつ運動の実施</li> <li>・時間いっぱいの清掃活動とトイレ、廊下の清掃を中心とした環境整備</li> <li>・学期に1回の職員による校内一斉安全点検の実施</li> </ul>	PL:生徒指導 SL:特別活動
3 業務の精選、効率化・平準化	「中高の連携ができています」と回答した教員の割合90%以上(職員アンケート)	各種中高合同会議の活性化を基盤にした中高連携の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高領域主任が情報交換を密にし、中高生徒が連携する合同企画の実施</li> <li>・中高合同教科会議で、生徒につけさせたい力の検討とその協働の実施</li> <li>・中高一貫校への先進校視察を実施、特色ある教育課程作りに着手</li> </ul>	PL:管理職 SL:企画運営委員会
		領域制度の徹底(領域主任による進行管理、係長による企画運営)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域主任が中心となり、建設的な意見交換を通じた各分掌の円滑な運営</li> <li>・分掌間の相互協力による、生徒の満足度が高まる学校行事の実施</li> <li>・報告、連絡、相談の徹底による情報共有と生徒事故等への組織的な対応</li> </ul>	PL:管理職 SL:企画運営委員会
	「業務が効率的に遂行されている」と回答した職員85%以上(職員アンケート)	ICT活用力の向上(統合ファイルサーバ・Webアンケート・OEN活用、e-office利用徹底)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBアンケートの活用による各行事反省と集約業務簡素化の推進</li> <li>・行事担当部署による学校ホームページ記事の作成</li> <li>・iPadの活用による紙資料の削減</li> </ul>	PL:教務(情報) SL:教頭